

議 事 録

会 議 名	令和5年第4回蒲郡警察署協議会（定例会）																																
日 時 ・ 場 所	<p>令和5年12月8日（金） 午後3時00分から午後4時50分までの間</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>蒲郡警察署 講堂</p>																																
出 席 者	<p>1 委員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">伊藤 博之</td> <td style="width: 33%;">会長</td> <td style="width: 33%;">松村 のぞみ</td> <td style="width: 33%;">副会長</td> </tr> <tr> <td>稲吉 貴之</td> <td>委員</td> <td>大嶋 聖美</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>近藤 昌泰</td> <td>委員</td> <td>佐々木 あやみ</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>増山 澄人</td> <td>委員</td> <td>小林 正人</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right;">以上8名（定数8名）</td> </tr> </table> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 警察署員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">内藤署長</td> <td style="width: 33%;">鈴木副署長</td> <td style="width: 33%;">塚田警務課長</td> </tr> <tr> <td>鈴木会計課長</td> <td>森生安課長</td> <td>木村地域課長</td> </tr> <tr> <td>長竹刑事課長</td> <td>彦坂交通課長</td> <td>金警備課長</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">以上9名</td> </tr> </table>	伊藤 博之	会長	松村 のぞみ	副会長	稲吉 貴之	委員	大嶋 聖美	委員	近藤 昌泰	委員	佐々木 あやみ	委員	増山 澄人	委員	小林 正人	委員	以上8名（定数8名）				内藤署長	鈴木副署長	塚田警務課長	鈴木会計課長	森生安課長	木村地域課長	長竹刑事課長	彦坂交通課長	金警備課長	以上9名		
伊藤 博之	会長	松村 のぞみ	副会長																														
稲吉 貴之	委員	大嶋 聖美	委員																														
近藤 昌泰	委員	佐々木 あやみ	委員																														
増山 澄人	委員	小林 正人	委員																														
以上8名（定数8名）																																	
内藤署長	鈴木副署長	塚田警務課長																															
鈴木会計課長	森生安課長	木村地域課長																															
長竹刑事課長	彦坂交通課長	金警備課長																															
以上9名																																	
諮 問 事 項 等	横断歩道等における一時停止の周知																																
答 申 等 の 概 要	<p>1 横断歩道等における監視の強化及び見せる活動を行い、市民のモラル向上を目指す</p> <p>2 長寿会などにおける高齢者への自転車教室継続及び子供への心に響く教育の実施</p> <p>3 高校生のヘルメット着用率の向上</p> <p>4 広報ツールを活用した、ヘルメットの補助金適用範囲、横断歩行者妨害の罰金額などの情報の周知徹底</p>																																
そ の 他	次回開催予定 令和6年2月下旬頃																																

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	前回の答申に対する取組状況（警備課長報告）
	(1) 諮問事項
	水害を始めとする災害対策
	(2) 答申事項
	ア 災害に関する情報は警察と蒲江市で共有されるため、通報先を問わな い旨の広報
	イ 子供にハザードマップを周知し、子供を通じた保護者の防災意識向上 の推進
	ウ 電光掲示板などを活用し、豪雨などの予報情報を流すことによる外出 意識の抑制
	エ 冠水等の発災予想道路の閉鎖や交通誘導など先制的な対応の推進
	オ 「冠水エリア」等の警告を道路に可視化する試みの道路管理者への働 きかけ
	(3) 推進施策
	ア 答申事項ア・イについて
	防災に関する広報、子供を通じたハザードマップ等の周知
	○ 広報資料の作成
	・ 交番別ハザードマップ
	・ 学区別ハザードマップ
	○ イベント等における広報
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨
イ 答申事項ウについて
○ 蒲郡市の公式LINEアカウントによる情報を提供
ウ 答申事項エについて
○ 道路管理者と連携して対策を推進
エ 答申事項オについて
○ 冠水注意標識を設置し、中央分離帯にUターン可能なスペースを確保
○ 県道での冠水危険箇所等については、市とともに県に要望を実施
4 諮問
(1) 諮問事項
横断歩道等における一時停止の周知
(2) 諮問事項説明(会長説明)
横断歩道での交通事故を抑止する施策については、愛知県の現状に沿った諮問事項だと思う。各委員については、蒲郡市の交通死亡事故0を継続するためにも忌たんのない意見を願いたい。
5 協議
委員 ・ 交通監視の強化、パトカーの巡回だけでも一般の人は注意をする。警察の存在を示して、市民のモラル向上を目指してはどうか
委員 ・ 高齢者が交通ルールを守らないように感じる。高齢者は子供たちと違い、変わっていく交通ルールを学ぶ機会がないからではないか。老人クラブや長寿会への交通教室や講話を行ってほしい。
記録者
警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
委員	<p>・ 車で走っていると高齢者の乗る自転車が、車道の端から道の真ん中に飛び出してきて危険を感じることもある。</p> <p>高齢者を対象に自転車教室を行うことで、交通マナーを向上させることができるのではないか。</p>		
委員	<p>・ 自転車で交通事故に巻き込まれた高校生のヘルメット着用率が0パーセントだというのは驚いた。高校生への注意喚起をしてほしい。</p>		
委員	<p>・ 市民に市から補助金が出ることを周知し、ヘルメット購入をすすめてはどうか。</p>		
委員	<p>・ 私は高校生の自転車マナーが一番悪いと思う。</p> <p>速度が速く、カーブは車道まではみ出している。2列で並んで走るなど違反が多いように思う。</p>		
委員	<p>・ 自転車のルールが変わりすぎて、私たちが知っているルールが正しいものかがわからない。</p> <p>小学生、中学生のみではなく高校生や高齢者、一般の人向けに自転車教室をしてはどうか</p>		
委員	<p>・ 私は車を運転しているとき、対向車線が渋滞しているときは徐行しているが、歩行者が止まっている車の間から飛び出してくることがあり怖い思いをすることがある。</p> <p>歩行者は飛び出しがあるかもしれないことを啓もうしてほしい。</p> <p>・ 歩行者には反射鏡を身に着けたり、明るい服を着るなど歩行者自身が気をつけるという啓もうが必要である。</p> <p>また、自転車に対しては、反対車線を通行しないよう指導してほしい。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
しい。	
委員	・ 高校生のマナーが悪い。まずは高校生にヘルメットを被るように意識づけをさせることが必要である。
委員	・ 高校生は、ヘルメットを被らないと危険なことは分かっているが、おしゃれを選んでヘルメットを被らない。
見栄えを気にする人には、オシャレなヘルメットを広報したらどうか。	
今は転倒するとエアバッグで頭を覆う「エアバッグヘルメット」などもあるのでそのような物を知らせてみてはどうか。	
警察はヘルメットの重要性を知らせるのは大事だが、子供たちの優先順位は「映え、オシャレ」なことをわかって対応していくべきだと思う。	
委員	・ 通勤時間帯には、横断歩道の歩行者を無視する車が多い。
委員	・ 横断歩道前のダイヤモンドマークは、色が薄くなっているところは、定期的に道路管理者に塗り直しを依頼してほしい。
委員	・ 信号のない横断歩道は、車が止まってくれるかどうか分からず、危険に感じる。
子供には信号のある横断歩道を渡るように指導しているが、横断歩道の正しい渡り方を子供に教えても、危険は多いと感じる。	
子供たちに対して、「車が止まることを確認するまで横断歩道の手前で止まる」と教育することが重要ではないか。	
6	答申
	記録者 警務係長

